

2020年8月31日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ダイキアクシスで「サステナビリティローン」成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 みけ かねつぐ 三毛 兼承、以下 当行）は、株式会社ダイキアクシス（代表取締役社長 おおがめ ひろし 大亀 裕、以下 当社）との間で、当行初となる「サステナビリティローン」による実行可能期間付タームローン契約（以下、本ローン）を、8月21日に締結いたしました。

愛媛県松山市を本社とする浄化槽等の排水処理施設の総合プラントメーカーである当社は、「環境機器関連事業」、「住宅機器関連事業」、「再生可能エネルギー関連事業」を主要セグメントとし、中期経営計画「Make FOUNDATION Plan（ESG経営の推進）」に基づき、社業を通じた環境改善の推進を重点施策として定めています。今般、「環境機器関連事業」のうち、アジア・アフリカ地域の水資源有効活用並びに汚染の防止及び管理に焦点を当てたプロジェクトを実施いたします。

<プロジェクト詳細>

サステナビリティプロジェクト	プロジェクト概要
プロジェクト-01： 浄化槽製造工場の建設・運営等	浄化槽増産及び新規生産にかかる、工場建屋・設置及び土地取得 (インド、バングラデシュ、ケニア、ミャンマー)
プロジェクト-02： 排水処理システムの設置・運営等 (BOO事業 ^{*1} ・BOT事業 ^{*2})	BOO事業・BOT事業による排水処理システムの提供 (インド、バングラデシュ、ケニア、スリランカ、ミャンマー)
プロジェクト-03： Water Kiosk ^{*3} によるクリーンな飲料水の供給	RO膜を利用したクリーンな飲料水を提供するための販売設備の建設・運営

当社は上記プロジェクトを実施するにあたり、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社を主幹事として、第三者割当てによる第2回新株予約権（以下 本新株予約権）を発行いたします。また、本ローンは、本新株予約権発行に伴うバックアップラインとなります。本新株予約権及び本ローンについては、「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」及び「サステナビリティボンド・ガイドライン」「グリーンローン原則」に準拠していることを確認するために、第三者評価機関であるDNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、セカンドパーティオピニオンを取得しております。

当行は金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げており、本業である金融機能を通じた環境及び社会の課題解決に積極的に取り組むことで、持続的な事業の成長と企業価値の向上の実現を目指しています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

- ※1 建設、資金調達、維持管理及び運営を当社グループで行い、契約終了後は当社グループが施設の所有権を所有し続ける、又は、施設を解体、撤去して事業を終了させる方式。(Build Own Operate)
- ※2 建設、資金調達、維持管理及び運営を当社グループで行い、契約終了後に顧客に施設の所有権を移転する方式。(Build Operate Transfer)
- ※3 公共の場所に設置された飲料水販売所のことをいい、上水道から、RO膜と呼ばれる浄化槽においても利用される高度な水処理が可能なる過膜を利用して、不純物等を取り除くことで安全な飲料水を提供する。



Daiki Axis BA-5



Daiki Axis BA-25

写真-1 プロジェクト 01 及び プロジェクト 02 製品例 (生活排水対応用浄化槽)



写真-2 プロジェクト 03 Water Kiosk 飲料水製造装置／販売サービス例

以 上